

事業所における自己評価総括表

事業所名	LITALICOジュニア池袋西口教室 児童発達支援
事業者向け自己評価表作成日	2025年10月30日（木）
自己評価総括の担当者	市川公康、遠藤実佳

	実施期間	有効回答数(回答者数)	有効回答数(対象者数)
保護者評価	2025年7月18日(金) - 8月28日(木)	43	46
従業員評価	2025年7月18日(金) - 8月28日(木)	2	9

各評価を受けて事業所内で分析した強みと弱み

事業所の強み（※）だと思われること
※より強化・充実を図ることが期待されること

支援の内容や利用者負担金額等について丁寧な説明を行っている。
「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明を実施している。
活動プログラムが固定化しないよう工夫している。
事業所内を心地よく過ごせる環境に調整している。
定期的に活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をお子さまや保護者さまに対して発信している。

事業所の弱み（※）だと思われること
※事業所の課題や改善が必要だと思われること

子どもの活動スペース・面談場所などの十分な確保。
保育所等や放課後児童クラブ、児童館との交流や、地域のお子さまと活動する機会が現状ない。
集団指導の時間が昨年度と比べ短い。

過去の取り組みや課題の振り返り

工夫していることや意識的に行っている取組等

契約や個別支援計画の提示の際、加算表やアセスメントシート等の資料を提示しながら説明を行っている。
集団やお子様を持っている特性にあわせて、プログラム内容を都度更新している。
日次で清掃を実施し、サーキュレーターや空気清浄機を設置している。また、季節に合わせた装飾や、お子様の成果物の展示も行っている。
月に1回、特別プログラムを実施し、ラインや掲示等でお知らせをしている。利用追加のお知らせも、ラインや掲示物で発信している。

事業所として考えている課題の要因等

事業所の設計上、教室の広さに反して2事業所があり、広くスペースをとることが困難なため。
教室がある地域の特性上、お子様の安全を考慮すると、交流の機会を設けることがむずかしいため。

さらなる充実と改善への取り組み

さらに充実を図るための取組等

体験時から詳しい情報の説明を行う。
親御様の質問に迅速にお答えする。
プログラムのバリエーションを増やしていく。
引き続き、敵的な清掃や整理整頓、修繕を行う。
お子さまや保護者様のニーズや意見もお伺いしながら特別プログラムを設定・発信していく。

改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等

スペースに合わせたプログラム設定や、クラスの設定を行う。
地域の連携を行うことは現時点では難しいが、関係機関連携等の連携はご要望に応じて引き続き行っていく。
来年度からより長い時間の集団の枠を設定する。